

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

エントリー学校名：

徳島県 上板町立高志小学校

活動名： ※どのような課題をどのような手法で解決したのか、わかりやすく伝える活動名を記入してください。

主タイトル (12文字以内) 「学びたい!!」校内研修

副タイトル (16文字以内) 子どもも大人もワクワク学ぼう

解決すべき課題： ※活動を行う前に、課題や目標をどのように設定しましたか? 視点などを含めて記載してください。

本校児童は、素直に明るくのびのびと学校生活を送っている。児童の90%以上が「学校へ行くのが楽しい」と思っている。しかし、学習を探究しようとする意欲はそれほど高くない。また、落ち着いた学校生活を送っているため、教員が研修の必要性をそれほど感じておらず、今のままでいいという雰囲気があった。そこで、研修主任として、子どもたちの学びの意欲を高めることを本校の課題とし、教務主任、生徒指導主任、学力向上担当と協力しながら、教職員全員が主体的に校内研修に参加して子どもの力をさらに伸ばすための研修を推進していくことを目標とし、計画をたてた。同時に、校内の環境(研修の視点で考える環境)を整えることとした。

目標・方針： ※課題を解決するためにどんなストーリーやシナリオを構想して、活動内容を組み立てたのか、記載してください。

- ① 授業改善で子どもたちに「学びたい」と思わせる・・・> 総合を中心とした教科横断的なカリキュラム作り
- ② 校内研修で教職員に「学びたい」と思わせる・・・> 外部講師、ワークショップ、ICTなどを用いた研修
- ③ 子どもたちとの学びを「語りたい」と思わせる・・・> 気軽に話せる場所の設定、気軽に使える掲示板的の活用
子どもも大人も、おもしろそうというワクワク感を持つことが、「学びたい」という意欲の高まりになると考えた。

活動内容： ※目標・方針に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください。

- ① 総合を中心とした教科横断的なカリキュラム作り...教科横断的にカリキュラムを作ることで、全ての学びが自分たちの生活につながっていることを子どもたちが感じるようにした。
- ② 校内研修の意識を変える...外部(県外)講師を招いた研修やワークショップ形式の研修を取り入れるようにした。また、ワークショップを用いることで、自分の考えを周りに表現する場を設定するようになった。
- ③ 気軽に使用可能な研修室...児童数減少により生まれた空きスペースの整備を行い、研修室を新たに作った。その中にはカフェコーナーを設けた。また、保健室の移動に伴い、保健室の一角に畳コーナーを設けた。

活動の成果： ※課題設定に対して、どんな影響、変化があったか、参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

- ① 総合(生活)では、地域の財を使つての学びを中心に全学年でカリキュラムを編成した。教職員が地域に目を向け、足を運ぶことが多くなったので、保護者や地域の方々が学校教育により協力的になった。また、教科横断的なカリキュラムにより、学びが生活につながるという意識が高まり、学力向上にもつながっている。
- ② 外部(県外)から講師を招くことで、自分たちとは違った視点での話し合いが行われた。地域が変わると自分たちが当たり前だと思っていたことが、そうでないこともある。教職員の視野が広がった。ワークショップ、ICT研修では、研修したことがそのまま教材になり子どもたちとともに学べるものとなっている。
- ③ 教員同士が気軽に話している中に、子どもたちの意欲につながる教材のアイデアが生まれてくるようになった。放課後、研修室や畳コーナーで教職員がその日の子どもたちの学びの様子を語っている姿を見かけるようになった。

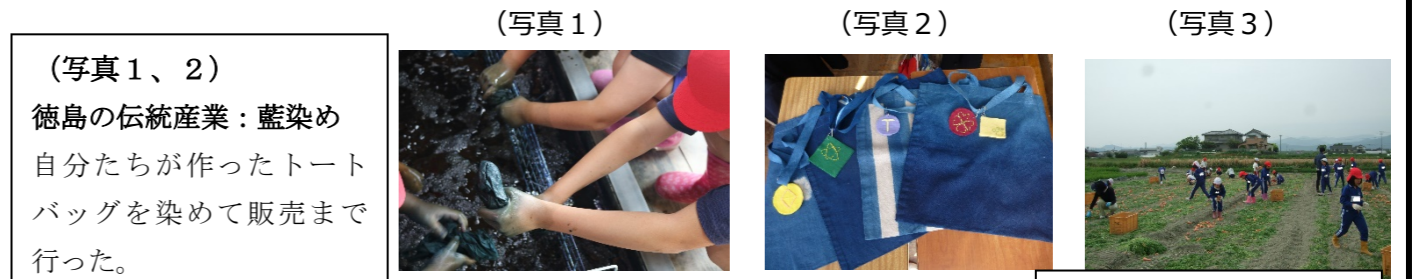
教職員の研修への意識が変わってきた。もっと知りたい、もっと学びたいという声が聞こえてくるようになった。

アピールポイント(アイデアや工夫)： ※3~5つ程度、箇条書きしてください。

- 総合を中心としたカリキュラムマネジメントを各学年で行う(教科横断的な学び) ⇒カリマネ表(図1)
- 地域の財を活用した教育活動の計画・実践 ⇒藍染、食育(写真1、写真2、写真3)
- 外部(県外)講師 ⇒研修の様子(写真4)
- ICTを用いた授業、そのための教職員ICT研修 ⇒ICT研修の様子(写真5、6)
- 子どもも大人(保護者・地域・教職員)も楽しいと思える教育活動の実践 ⇒笑顔の研修(写真7)

<写真、図表添付欄>

(図1)
カリマネ表(一部)
教科の年間を通した単元構想を行い、総合のどの部分とつながっているか、また、各教科での学びが他教科のどの単元とつながっているかということを示印で表したもの



(写真1、2)
徳島の伝統産業：藍染め
自分たちが作ったトートバッグを染めて販売まで行った。



(写真3)
地域の農産物：にんじん
規格外であるために畑に廃棄されているにんじんを拾って加工することで、産地ロス(食品ロス)削減への仕組みを考えた。



(写真4)
外部講師
多様なバックグラウンドを持つ講師の方に来ていただいて、研修の質を高めている。



(写真5、写真6)
ICT研修
様々なツールを使いこなすための研修。WEB会議システムを用いて、遠隔地との研修も行った。

(写真7、畳コーナー)
笑顔あふれる研修
教職員が自ら学びたいという思いがもてる研修をこれからも続けていく。

